

進むべき道はいつも目の前にある

12月 9日(水) No.20

冬休みまでにしておくこと

私立高校入試まであと63日、公立一般選抜入試まであと91日となりました。これから入試までは本当にあっという間です。入試に向けての大切なポイントが冬休みの過ごし方です。いうまでもありませんが、三年生にとってこの冬休みは高校入試直前のまとまった時間が使えるラストチャンスです。この10日間の冬休みを計画的に有意義に過ごせるかどうか、合否を分ける大きなポイントになります。

- まずは、①冬休み(10日間)で何を勉強するのか、計画をしっかりと立てる。
②勉強する時間帯をきちんと決めて、毎日のスケジュールを立てる。
③机の整理整頓をして、必要な教材(ノート、筆記用具も)を揃えておく。

などの準備をした上で、自主的に勉強を進めていきましょう。

面接対策講座を行います

金曜日に、講師に興國高校の校長先生をお招きして面接対策講座を行います。高校入試では多くの私立高校が面接を行います。実際に入試で面接を行っている高校の先生からいろいろなアドバイスをしていただけるのは非常に参考になると思います。

たとえ高校入試で面接がなくても、今後、就職などいろいろな場面で面接を受ける機会があるでしょう。この機会に面接について学んでおくのは、みなさんの人生において必ずプラスになるはずです。



面接で、特にチェックされるのが次の3つです。

①身だしなみ、振る舞い

面接でいちばん大切なのは第一印象です。面接官に良い印象を与える(最低限悪い印象を持たれないようにする)ことを意識しましょう。

②意欲・姿勢

面接で問われるのは知識・学力ではありません。どれだけ高校生活、勉強に対して意欲を持っているかということの方が重要です。そのためにも、志望動機や高校に入って頑張りたいことなどの質問にはきちんと答えられるように準備しておこう。

③コミュニケーション能力

相手の話をしっかり聞いて、相手の知りたいことを自分のことばでしっかり伝えることができればOK。緊張しすぎずに、本当の自分を相手に理解してもらおう。

【☆重要☆】私立高校へ願書を取りに行きましょう！ (ネット出願の人も電車で高校へ行ったことがない人は下見に行こう)

進路懇談で私立高校の志望校が決まったら、いよいよ受験に向けての手続きです。ネット出願の人は願書が不要ですが、それ以外の方は私立高校に行って願書を手に入れたいといけません。11月以降に説明会に行った人はその時に願書をもたらしているかもしれませんが、そうでない人(手元に願書がない人)は、懇談期間中または冬休みの間に高校へ行って願書をもたらってきてください。

ネット出願の人は願書を取りに行く必要がありませんが、もし高校への行き方がよくわからないという場合は、入試のときに迷わないように必ず下見をしましょう。特に、オープンスクール、説明会等に参加していない(実際に高校に行ったことがない)、参加したけど親に車で送ってもらったという人は要注意です。

今年度は、新型コロナ流行の影響により、多くの私立高校で郵送による出願となる予定です。例年なら、みんな揃って出願に行くのが下見代わりになっていましたが、今年度はその機会がないので、必ず各自で公共交通機関(電車、バスなど)を使って高校まで行けるようにしておいてください。

冊子「進路決定のために」を活用しよう

先日、進路学習で冊子「進路決定のために」を配布しました。この冊子は、松原市内の7つの中学校の進路担当の先生が集まって、みなさんの志望校選択・入試に向けての準備の手助けになればと思い作成したものです。進路決定をする上で前もって知っておくべきことは、ほぼ全てこの冊子に載っていますのでぜひ活用してください。

自分が受験しようとする高校の試験科目(私立高校)や、国・数・英の試験問題のタイプ、入試の点数と評定の倍率タイプ、合否判定の方法(公立高校)などは、少なくとも事前に確認しよう。面接のある人は、39ページからの「面接の心得」を何度も読んでおきましょう。

【保護者のみなさまへ】来週より進路懇談がはじまります

18日(金)～23日(水)に進路懇談を行います。今回は、私立高校の受験希望校を決める大切な懇談です。

気になっていることや不安に思っていることなど、担任の先生と十分ご懇談の上、進路決定していただきたいと思いません。事前に、ご家庭で相談したいことや質問したいことなどをよく話し合っておいてください。

